

事務事業調書

平成27年度

事業No	782	課	スポーツ課	係	施設管理係	起案者	籠瀬博敬
						決裁者	野畑伸
事務事業名	スポーツセンター施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 1 公共スポーツ施設の充実				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-30-30			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	有	体育施設の設置及び管理に関する条例								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	有	健康(安心長寿の社会づくり)スポーツ施設の充実と生涯スポーツの推進								
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託		委託先		民間企業					
実施期間	開始	平成13年度		経過	14年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		利用者が				~になる		気軽に安心して施設の利用をすることができる	
事務事業の内容	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、安城市スポーツセンターの管理運営を行います。									
改善・対策の履歴	万一のプール事故への対応のため、救助訓練を実施するなど、施設利用時の安全配慮の向上を進めています。施設の利用開始から14年が経過し、老朽化による故障や不良箇所が発生し、修繕によりその対応を行っています。今後も引き続き、安全、快適にスポーツに親しんでいただける環境づくりを行っていきます。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	181,957	217,616	209,018	216,668	231,110
財源計	167,467	205,016	196,418	204,068	221,345
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	54,621	53,359	51,117	51,363
	一般財源	112,846	151,657	145,301	152,705
受益者負担金	54,621	52,064	51,117	50,064	51,117
職員人件費(従事職員数)	14,490 (2.30)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	9,765 (1.55)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	監視業務(一式)	活動の総事業費(千円)	60,745	61,001	61,794	
			活動にかかるコスト(千円)	60,745.00	61,001.00	61,794.00	
活動2	活動名 (活動内容)	委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設保守管理(一式)	活動の総事業費(千円)	36,377	51,026	41,684	
			活動にかかるコスト(千円)	36,377.00	51,026.00	41,684.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	施設利用者数(千人)			目標	241.00	246.00	252.00	252.00
				実績	200.00	197.00	195.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			
				達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	水泳、トレーニングなど一人でもできるスポーツを親しむことができる施設であり、市民のスポーツ習慣が定着し、健康づくりに寄与しています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	委託業務については、市民の快適なスポーツ環境を保持するため、コストを削減することは難しい状況となっています。今後施設の老朽化がさらに進むことから、点検箇所数や監視箇所数の増加が考えられ、活動コストが上昇することが予想されます。
成果	プールの可動床の故障により、修繕を行うための期間を休業し、20日程度プールの営業日が減少したため、利用者数が減少しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
利用者の安全で快適な利用環境の確保のため、引き続き訓練や職員の研修を行っていきます。 施設や設備の計画的な改修により、休業日を減らし、利用者への影響を最小限にとどめるための配慮を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	さらに、市民に利用しやすい施設となるよう改善を図りながら、事業の継続を行っていきます。